

親鸞聖人七五〇回忌大恩忌法要記念出版

# 「クイズ浄土真宗」より出題

## 3 択問題 墓の石碑に 水をかける意味は？

イ、罪、穢れを流すため

ロ、石碑の汚れを洗い流すため

ハ、灌仏の習慣で、仏や先祖を  
讃え、感謝する行為の一つ

お墓参りをするときには、まず掃除から始める方が多いことでしょう。石碑やその周りのホコリ、落葉など汚れを取り除いて、すっきりした気持ちでお参りしたいですからね。そののち持参したお花を供え、線香に火をつけ、場合によってはローソクを点してお参りするのが通例です。このとき、すなわちきれいに掃除そた後のことですが、石碑の天辺から柄杓で水をかける習慣があります。これは、単に汚れを落とすためではなく、また故人、あるいは自分自身の犯した罪・穢れを落とすためではなく、仏さまや、仏となった故人のお徳を讃えるための行為なのです。原型は遠く、お釈迦さまの時代までさかのぼります。お釈迦さまがご誕生になったときに、天から降ってきたのが甘露の雨と言われています。そこから四月八日の花まつりには、誕生仏に甘茶をかける灌仏の習慣が生まれしました。あの甘露の雨は祝福の意味です。大いなるブツダ（仏さま）のご誕生を祝い、讃えるしるしが甘露の雨だったので。水を濯ぐのは、天から降る甘露の雨に似せて仏、並びに亡き人を讃え、感謝する行為だと思えばよいでしょう。

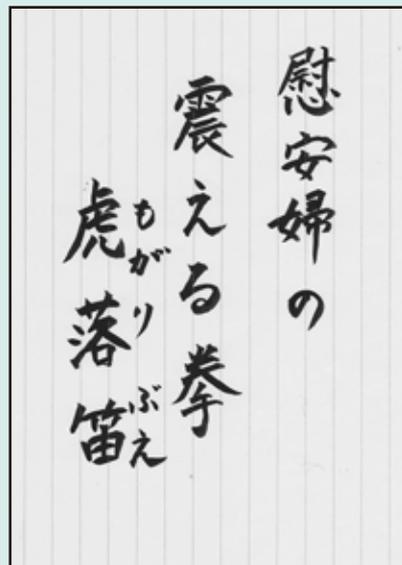
(本文より)



ちなみに住職は「ロ」だと思っていました。お恥ずかしい！

本願寺出版 1365 円

## 前任職の 今号の一句



私たちは、慰安婦と呼ばれる人々に  
いて、どれほどのことを知っているでし  
うか。どういった女性が慰安婦にさせられ  
たのか、慰安所設置の指揮・命令系統  
はどのようなものだったのか、慰安婦に  
された女性はどれくらいいるのか、慰安婦は  
どのようにして集められたのか、いま、彼  
女たち被害女性は何を求めているのか。

※虎落笛（もがりぶえ）

冬になると、風が木立を揺らし葉を落とす音や、柵や竹垣などに当たって出る音。中国の言葉で虎避けの竹の柵のことを「虎落」というので、そこに当たって鳴る音という意味の季語です。